

知っておかねば

ようこそ コープ防さい塾

コープみらい 地域クラブ
武蔵野のんちゃんクラブ

酷暑・猛暑の中、全国各地で自然災害が相次いでいます。

地震、線状降水帯による豪雨や水害、土砂崩れ、竜巻等々。日本で発生する災害は実に多種多様です。

武蔵野市では、一昨年の家具の転倒防止器具、昨年の携帯トイレに続き、今年度は災害時の出火防止のための感震ブレーカーを配布することになっています。

一方、私たち一人ひとりが家庭でできる備えの情報もメディアやネットで飛び交っていますが、玉石混淆の様子になっています。知識としてわかっているつもりでも、いざとなると戸惑うことも多いのではないのでしょうか。

これまで、のんちゃんクラブでは、“無理なく、無駄なく、普段のくらしの中で出来る防災”の工夫を伝えてきました。

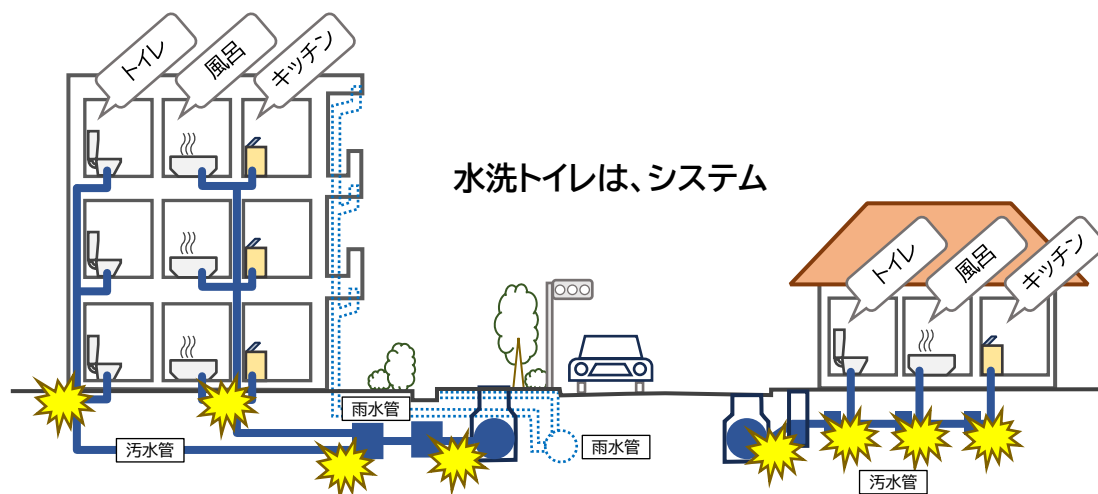
ライフライン（電気・ガス・上下水道）が止まっても、毎日使っているものを上手に利用して、被災後の生活を立て直していくことが可能です。（特別な防災用品というものは、意外に少ないものです。）

災害時のトイレ問題については、かなり知られてきたようですが、在宅避難ならば、なんとなく大丈夫と感じている人が多いかもしれません。

必要な知識を持ち、エコノミー症候群等で健康を損なわないようにすることは、とても大切なことです。

今回は、不幸にして被災した時、その後の生活再建のために必要な情報にアクセスできるようになる方法も取り上げました。

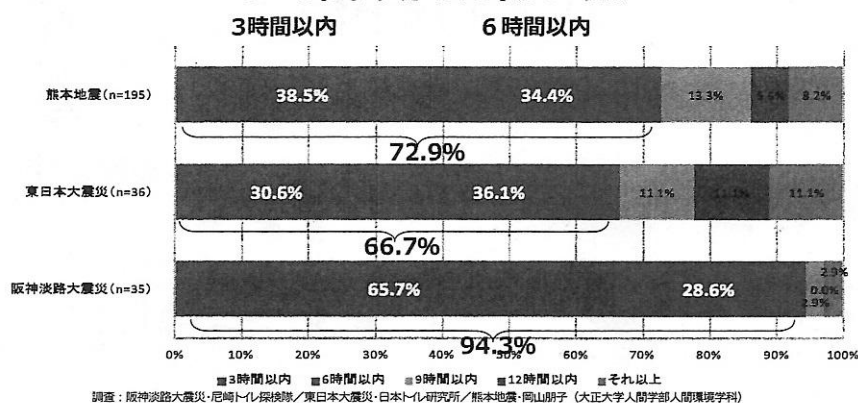
自宅のトイレについて考えてみよう



- ※ 污水管や雨水管は、建物から地面につながっています。
 災害時に、トイレ・お風呂・キッチンから水を流した時に、污水管に亀裂が入っていたら……。
 階上の天井から污水が落ちたり、地面に染み出した污水で衛生状態が悪くなったり、環境に悪い状態を作ってしまいます。
 特に、マンション等の集合住宅では、すべての世帯で意識しなければなりません。

地震後、何時間でトイレに行きたくなくなったか？

6時間以内に約7割



水や食料より早く必要

トイレは我慢できない！ 阪神・淡路大震災の時、避難所のトイレは排泄物で汚れ、床や手洗い場のシンクまで排泄物だらけになったということです。
 トイレに行きたくないため水分を控え、体調を崩した人も多かったといえます。
 メディアなどでもあまり報道されず、被災者も話しにくかったため、このことは今でもあまり知られていません。



※ 必ず やっておくこと

- ① 家族でトイレについて話し合ひましょう
 - ② 携帯トイレを準備しておきましょう
 - ③ 災害時には、真っ先に携帯トイレをつけましょう
- 集合住宅に住んでいる人、みんながトイレのことを意識することが大切です。

※ のんちゃんクラブでは、ネコ砂を使った簡易トイレをおすすめしています。

3・11 後を生きる

「ネコ砂」で簡易トイレ



防災・危機管理ジャーナリスト

渡辺 実さん

わたなべ・みのる 1951年生まれ。35年以上にわたり、国内外の被災地を取材し、防災対策の提言を続ける。株式会社まちづくり計画研究所代表取締役所長。「都市住民のための防災読本」「高層難民」など著書多数。

[illegible]

生液

首都大震災

安価に吸水・消臭効果

この震災時のトイレ問題は、環境と衛生、健康にも関わる、被災地では水や食料以上に深刻な問題となります。

[illegible]

47-2017065
47-2017065



東京新聞より
転載許可確認済み

◎ 使用するネコのトイレ用の砂は「燃やせる」表示のあるもの“紙系”のものを
選びます。(ベントナイト、ゼオライト等の“石系”は不可)

使い方

-
- ① 砂を入れる袋を濡らさないために便座を上げ、大きめのポリ袋を先に装着。
(常時固定推奨)
- ➡
- ② 便座を下ろしてから、砂を入れる袋を取り付ける。
- ➡
- ③ 用を足す前にスコップ1～2杯のネコ砂を入れる。使用後さらに1～2杯ネコ砂をかける。
- ➡
- ④ 内側の袋がいっぱいになったら袋の口を堅く結び、トイレに保管。

◎ 使用済みのペーパー・尿・便は、分けて保管し、自治体の収集が始まったらルールに従って出す。

実際に使ってみました

- ・尿はネコ砂に吸収され固まりました。においも抑えられ、許容範囲内と言えると思います。
- ・便は、やはり尿よりにおいが強いので、別の袋を使うなど工夫が必要かもしれません。しかし、被災して水が使えない時には充分役に立つと思われます。
(使ってみたのは8月中)

携帯トイレ

※ 携帯トイレは、凝固剤と排便袋がセットになっている“防災セット”が代表的で、便と尿をいっしょに固めてくれ、消臭機能もあるが、1回分が100円以上と割高。（シートが付いているものもある。）

（凝固剤＝高分子ポリマー。水分を吸収して外に出しにくい。紙おむつ・生理用ナプキン・ペット用シートや保冷剤・冷却シートにも使われている）

※ 携帯トイレの必要数は、1人1日5回分と考える。

家族の人数×5回×最低7日分　　4人家族では、140回分が必要。

＊排尿の回数と量は個人差があるので注意。

（上下水道の回復は、ライフラインの中で最も遅く、30日以上かかると言われている）

※ 携帯トイレといっしょに備えておきたいもの

- ・トイレットペーパー　・ポリ袋（45L位のもの、便器を覆う内袋として養生テープなどで固定しておく）　・照明（停電などへの備え。ランタン型が便利。）
- ・手指衛生用品（アルコール消毒液、ウェットティッシュ）
- ・蓋付き容器（使用済み携帯トイレの保管）

★ 蓋付き容器の中に備えておく物を入れて保管し、災害時に取り出して使うとよい。

そのほかに、おむつ（大人用・子ども用）、尿取りパッド、生理用品（シニア女性は、軽度尿吸収製品も）、ボックス、ウェットタオル、お尻ふき、トイレ洗浄剤、ビニール手袋、清掃道具、消臭剤、塩素系漂白剤等

※ 特に、トイレットペーパーは普段から多めにストックしておく。以前、国はトイレットペーパーの大規模備蓄を検討したが、製紙会社の所在地が南海トラフ地震発生予想地域に集中していることなどから断念している。避難所に行くときも必ずトイレットペーパーを持参すること。

最近、250m等の長巻きのものが販売されているので、場所をとらずに備蓄できる。



トイレットペーパー



ポリ袋



照明



手指消毒



蓋付き容器

試してみました

災害時に携帯トイレとして使えるものの特徴と、吸収させた時の様子をまとめてみました。

購入したら、必ず一度、家庭のトイレにセットしてみしましょう。

① 凝固剤（高分子ポリマー）と蓄便袋のセット

- ・尿と便をいっしょに固めてくれるので使いやすい。吸水させると、固まってプルプルしない。吸水量は、概ね 500cc 位。
- ・消臭機能あり。
- ・高価なのが難点（1 回分 100 円以上）。便の時だけ使い、尿は他のものを利用するのもよいと思う。

② 大人用おむつの尿取りパッド

- ・規格では、尿 1 回を 150cc と計算することになっている。（量は個人差がある）2 回用から 6 回用などメーカーによっていろいろある。
- ・消臭機能あり。
- ・非常時に外出しなければならない時にも使える（特に女性）。

③ ペット用シート

- ・スーパーや薬店でおいているのは、主に小型犬用のレギュラーサイズ。
（35cm×44cm 新聞紙の約 1/2 の大きさ） 吸水量は 200cc くらいまで。
- ・消臭機能あり。
- ・大型犬用のワイドサイズは、バスタオルの代用や赤ちゃんの体洗いの水受けにも使える。
（ワイドサイズ 40cm×60cm、スーパーワイドサイズ 60cm×90cm）

④ 新聞紙

- ・紙媒体を購読している人は減っているし、以前はキャンプなどでいろいろ利用されていたが、実用的ではない。
- ・消臭機能なし
- ・水を吸うと、とても重くなる。

⑤ ネコ砂（紙系で燃やせるもの）

- ・消臭機能あり。
- ・使用後にネコ砂をかけると、次の人が使いやすい。
（便は、ペット用シートなどをセットし、別に保管する）

★ 注意すること

- ・ 尿・便・使用済みのペーパーは、分別して保管する。
- ・ 消臭ポリ袋は、必ず用意しておく。高分子ポリマーの凝固剤だけで販売されているものにも、忘れずに用意しておく。（中身が見えにくい色になっている）
ネコ砂の場合は、便はペット用シートなどを使い、消臭ポリ袋に入れて別に保管するとよい。
- ・ 凝固剤とネコ砂以外は、水分を吸収すると意外にプルプルする。



被災後の生活再建のために必要な情報に アクセスする方法を知っておこう！

コープ災害ボランティアネットワーク（略称：コ災ボ）で、昨年 10 月、スキルアップ講座「首都直下地震を見据えて能登半島地震・被災後の生活再建のための支援制度と罹災証明の知識」が開催されました。講師の永野 海氏（※注）は、被災者支援さぼとページ「ひさぼ」（支援制度をダウンロードするサイト）を立ち上げ、啓発活動をしています。

※ 永野 海：日弁連 災害復興支援委員会 副委員長
静岡県 被災者支援アドバイザー
静岡県 ボランティア協会 理事
弁護士、防災士
Web：<https://naganokai.com/>



ひさぼのサイト

支援制度ツールを
ダウンロードするサイト

講座では、永野氏作成のカードゲームを使い

「輪島市中心部に住む 70 代と 60 代の夫婦二人暮らし、自宅は地震で半壊、年金収入 月 15 万円、貯金 300 万円ほど、築 50 年の木造二階建、土地 500 万円、建物 300 万円、地震保険で 150 万円もらえるが、それ以外はどんな支援が受けられるのかわからない、工務店の見積もりでは立て替え費用 2000 万円と言われている」という想定で、カードを使い、選択可能な条件をあげながら将来設計をするというものでした。

講座の中で永野氏は「支援制度は知識のある人のもの」「罹災証明書は生活再建のパスポート」「罹災証明は 100 点満点のポイント判定。半壊（20 ポイント以上）とそれ以下では、どの判定をもらうかで天国と地獄ほどの差になることもある。」

「半壊未満の判定になると、応急仮設住宅に入る権利すらなくなったり、ほとんどの支援対象外になるという基礎的な知識を持つことが、判定する行政と住民両方に必要である。」と述べました。

日本の法的制度に基づく公的な支援をどれだけ受けられるかは、被災した人の申請により交付される罹災証明書の判定と密接に関わっています。

3時間に及ぶ講座の中で、複雑な被災後の制度について完全に理解することは困難ですが、事前に基本的な知識を持ち、いざという時、必要な行動をとれるよう備えることはできます。

永野氏は、支援情報の整理の仕方として「ひさぽ」で基本的な支援制度を把握 → 発災後、徐々に自治体のHPが充実してきて、かつ、追加の制度も出てくるので、自治体のHPで情報を補充 → 大規模災害の場合には「ひさぽ」上でも追加の支援制度も整理するので、確認してほしいと言っています。

★ 永野氏が、災害版「家庭の医学」として備えてほしいと出版された本を紹介します。

「避災と共災のすすめ

～人間復興の災害学～

帝京大学出版

災害にあったらどうなるの？

罹災証明書のポイントは？

必要な支援制度はどれ？

行政に求められるものは？

この本の中にすべて書きました。

永野 海



購入サイト

永野氏の本で紹介されました！

★ 浸水被害から生活再建の手引き（冊子版）

“水害にあったときに” 震災がつなぐ全国ネットワーク編

作成：震災がつなぐ全国ネットワーク

（認定特定非営利法人 レスキューストックヤード内）

〒461-0001 名古屋市東区泉 1-13-34

TEL 052-253-7550 FAX 052-253-7552

震つな公式アドレス

office@shintsuna.org

震つなブログ

<https://blog.canpan.info/shintsuna/>

被災後の心の対応、必要な手続き、
家屋の片付けと掃除、生活再建の
体験談まで、知っておくべき情報が満載。



<参考資料>

- 首都直下地震に備えて能登半島地震から学ぶ
「被災後の再建のための支援制度と罹災証明の知識」
コーポ災害ボランティアネットワーク スキルアップ講座
弁護士・防災士 永野 海 氏
- 「避難と共災のすすめ ～人間復興の災害学～」 永野 海 著
- 災害時の一番の困りごと「ト・イ・レ」を考える
コーポ災害ボランティアネットワーク
中野区社会福祉協議会 共催オープン講座
特定非営利活動法人 日本トイレ研究所 松本 彰人 氏
- 災害時の一番の困りごと
武蔵野市消費者運動連絡会 講座
特定非営利法人 日本トイレ研究所 島村 充也 氏